

■学校跡地の活用事例について(県外)

資料2

No.	市町名	旧学校名	活用開始年度	用途	活用事業者	初期投資費用	施設名	施設の特徴	資料3 ページ
①	群馬県 みどり市	福岡西小学校 (H24.3廃校)	R元年度	社会教育施設 公民館/子育て支援施設 防災拠点	自治体 (転用)	約1億6,700万円	みどり市多世代交流館	廃校リノベーションによる社会教育施設、多世代が集える多目的スペース、交流環境およびバリアフリー設備、災害時の避難場所としての役割	P1
②	鹿児島県 南さつま市	笠沙小学校 (H26.3廃校)	H27年度	複合施設 診療所/医師住宅 町出張所/公民館 避難所/消防団詰所及び車庫	自治体 (転用)	約2億3,100万円	笠沙地区総合センター 「よいどこい」	地域の生活拠点として幅広く活用、1階には南さつま市笠沙支所野間池出張所、野間池診療所、地区公民館を併設。2階には消防詰所を備え、防災拠点としても機能しています。行政・福祉・医療・防災を一体的に提供。	P2
③	山口県 周防大島町	和田小学校 (H26.3廃校)	H28年度	サテライトオフィス ※企業の本社や主要オフィスから離れた場所に設置されたオフィス	民間 (無償貸与)	約4,600万円	㈱ビジコム 周防大島サテライトオフィス	㈱ビジコムの本社機能の一部を分散し、ネットショップ運営や物流業務を行うほか、郷土資料室の設置や地域イベント支援など、地域との共生を重視した施設	P3
④	新潟県 新発田市	車野小学校 (H26.3廃校)	R5年度	適応指導教室	自治体	移設	新発田市教育支援センター 車野校	校舎の一部に教育支援センターを開設し、不登校解消に向けた取組を推進。自然豊かな環境に立地しており、地域の方との農業体験や茶道、創作活動等の学習以外の様々な活動を行っている。	P4

■学校跡地の活用事例について(県内)

No.	市町名	旧学校名	活用開始年度	用途	活用事業者	初期投資費用	施設名	施設の特徴	資料3 ページ
⑤	敦賀市	赤崎小学校 (R3.3廃校)	R5年度	適応指導教室 教育相談	自治体 (転用)	410万円	ハートフル・スクール (教育支援センター)	不登校児童・生徒の適応支援施設。教室スペースを「学習室」「多目的室」「相談室」に分けて活用。体育館では体を使ったプログラムにも対応する。	P5
⑥	あわら市	吉崎小学校 (H28.3休校)	R4年度	全天候型遊戯施設	民間 (無償貸与)	180万円	あそぼっさ	小学校の体育館、旧幼稚園エリアを全天候型子供の遊び場として利用。クラウドファンディングにて資金調達し、遊具の購入や子供用トイレ改修の初期投資に充てた。	P6
⑦	あわら市	波松小学校 (H28.3休校)	R元年度	カフェ	民間 (無償貸与)	190万円	なみまちCAFE	カフェ、ラウンジを運営している。そのほか塩づくり体験等ができる。	P7
				ラウンジ			なみまちラウンジ		
⑧	坂井市	竹田小学校 (H22.3廃校)	H28年度	体験型宿泊施設	民間 (指定管理)	4億3000万円	竹田農山村交流センター ちくちくぼんぼん	宿泊、体験が可能な宿泊型体験施設を運営している。そのほか会議、研修、レクリエーション等に利用できる。	P8
⑨	池田町	池田第三小学校 (H23.3廃校)	H28年度	合宿施設	民間 (第三セクター)	8000万円	池田農村合宿交流施設 農村de合宿キャンプセンター	スポーツ合宿、音楽合宿、企業研修など多様な利用が可能な宿泊施設を運営している。農業や伝統文化を学ぶ体験プログラムも利用できる。	P9
⑩	若狭町	岬小学校 三方中学校岬分校 (H28.3廃校)	H29年度	漁村体験施設	民間 (指定管理)	1億120万円	若狭町みさき漁村体験施設 みさきち	町、学校法人 金井学園、地域協議会の三者にて廃校再生プロジェクトを始動し、漁業体験施設として活用している。大学生と地域とのイベント開催も行っている。	P10
⑪	大野市	乾側小学校 (R3.3廃校)	R8年度 (予定)	地域交流センター	自治体 (転用)	－	(仮称)乾側地域交流センター 【整備予定】	令和6年度に地区住民で構成される乾側小学校跡地活用検討会と協議を重ね、跡地を活用した「(仮称)乾側地域交流センター」の整備基本計画を策定した。	－
⑫	永平寺町	志比北小学校 (R6.3休校)	－	－	－	－	検討中	休校中。検討委員会で利活用を検討中。	－
⑬	若狭町	熊川小学校 (R7.3廃校)	－	－	－	－	検討中	地元企業へ活用案を募集している。	－